

北琉球奄美大島浦方言の自然談話資料

—ハブ捕り話・ケンムン話—

白田 理人 重野 裕美

1 はじめに

本稿は、筆者が収録した北琉球奄美大島浦方言（以下浦方言）の自然談話を、言語資料として報告するものである。浦方言の属する琉球諸語¹は鹿児島県の奄美群島（喜界島・奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島・沖永良部島・与論島）から沖縄県にかけて伝統的に話されている言語である。ほとんどの地域で日本語（本土方言）への言語推移が進行しており、若い世代にはわずかな語彙や文法しか継承されていない。伝統方言話者の高齢化が進み、地域コミュニティが徐々に崩壊していく中、一次資料の収集が喫緊の課題である。言語の記録には①文法、②語彙、③テキスト（自然談話、民話など）の3点セットが必要だと言われている。浦方言はこれまで、利用可能なテキスト資料が管見の限りほとんど見られなかった。上述のように当該言語が消滅の危機に瀕していることに鑑みると、本稿が報告する言語資料は浦方言の記録及び研究に資する役割が大きく、今後の研究活動及び教育・継承活動を促進するものとなる。

1.1 浦方言の話される地域と話者

浦方言は奄美大島の浦集落（鹿児島県大島郡龍郷町浦、次頁地図参照）で話されており、琉球諸語の北グループに属する言語変種である。浦集落には龍郷町役場があり、町の行政の中心地となっている。龍郷町は奄美市に挟まれており、東側は奄美空港がある旧笠利町、西側は奄美大島の行政の中心地である旧名瀬市が位置している。交通の便が良いため、他市町村からの転居者が多い。他地域では人口が減少している中、龍郷町は大型スーパー等の増加に伴い、人口も増加傾向にある。伝統産業は大島紬で、代表的な柄の「龍郷柄」や「秋名バラ柄」の発祥地でもある。2016年9月末現在、浦

¹ 琉球諸語は、北琉球（奄美・沖縄）と南琉球（宮古・八重山・与那国）に大きく分かれ、それぞれの変種間でも相互理解性を欠くことから、奄美語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語の5言語（またはこれに国頭語を加えた6言語）に分類する立場がある。この分類に従うと、浦方言は奄美語に分類される。ただし、北琉球内の下位分類は諸説あり、本稿では特定の立場を採らない。

集落の人口は 580 人（344 世帯）である²。いわゆる伝統方言を流暢に話すのは主に 70 代以上であり若い世代に継承されていないことから、集落内の方言話者数はこれより少なく見積もられる。



図 1 浦集落の位置³

1.2 浦方言及び近隣方言の先行研究⁴

浦方言の先行研究として、文法の体系的概略的記述を目指した Shigeno (2010)、動詞・形容詞に関する重野 (2014, 2015b, 2016b)、格体系に関する重野・白田 (2016) 及び重野 (2016a)、敬語に関する重野 (2012) がある。また、重野 (2015a) は琉球諸語研究者のグループによって考案された統一的な表記法に基づき、浦方言の表記法を示したものであるが、その表記例として短い談話を収録している。浦方言を含む龍郷町の諸方言の動詞・形容詞のアクセント資料として、上野 (2000, 2001) がある。同じ龍郷町内の瀬留集落の方言の先行研究として、格体系を扱ったまつもと (1993, 1998)、エビデンシヤリティに関するまつもと (1996) がある。

2 浦方言の自然談話資料

本稿で扱う言語資料は「ハブ捕り話」と「ケンムン話」である⁵。1つ目の「ハブ捕り話」は話者とその知り合いが山にハブを捕りに行く話である。「ハブ」は猛毒を持つ蛇の一種である。危険な猛毒ハブの駆除を目的として、捕獲して役場等に持ち込むと

² 龍郷町役場発行の資料に基づく。

³ 国土地理院発行の地図データをもとに Thomas Pellard 氏が作成した地図を適宜加筆・編集して用いている。

⁴ 本文中で挙げたものに加え、奄美大島内の他方言に関する特筆すべき資料／研究として、奄美市名瀬方言の文法概略 (寺師 1981)、大和村大和浜方言の辞典 (長田・須山 1977, 1980)・談話資料 (琉球列島班 1990, 1993)、大和村名音方言の談話資料 (田畑 2005)、宇検村湯湾方言の参照文法 (Niinaga 2014) がある。

⁵ どちらも現地の独特な習俗に関係している。民俗文化的資料としての利用価値にも鑑みた上でこのトピックを選択した。

買い取ってくれるため、現地ではこれを生活の糧にした住民もいた（田畑 2004）。2つ目の話は話者が「ケンムン」に出会ったときの話である。「ケンムン」とはガジュマルという木に住む精霊である（中山 2009）。不自然な音を立てたり、姿を見せたとしても猫や犬に化けて現れたりする。ケンムンの話は「山の崩れる音」、「木の倒れる音」、「崖を登る影」の3つから構成されている。

話者および収録に関する情報は以下のとおりである⁶。主に話者 A が話している。

- 収録日: 2015年5月5日
- 収録場所: 話者の自宅（鹿児島県大島郡龍郷町浦）
- 収録時間: ハブ捕り話4分51秒, ケンムン話1—山の崩れる音—3分00秒, ケンムン話2—木の倒れる音—4分27秒, ケンムン話3—崖を登る影—3分53秒
- 話者
 - A: 新島一輝氏, 1932年（昭和7年）生の男性, 浦集落出身, 調査時83歳
 - B: 新島夏江氏, 1933年（昭和8年）生の女性, 浦集落出身, 調査時82歳
- 臨席者: 本稿の筆者

資料の提示の体裁について、1行目に形態素境界付きの音韻表記、2行目にグロス（意味・文法情報）、3行目に共通語訳を示している（グロスの略号については巻末参照⁷）。表記については、重野（2015a）のアルファベット表記に従って示している⁸。言いよどみは..で表している。音形を伴わない場合は例文上には表記せず、グロス上で直前または直後の形態素にまとめて機能を示す。話者 B の発話は、音韻表記の後に (B) として示す。

2.1 ハブ捕り話

- (1) nobunari+ani=ga un yama yusi-n=ch-un=kana
 ノブナリ + 兄=NOM1 その山.ACC1 教える-NPST=QUOT. 言う-NPST=CSL
 n'aa tury-un habu=wa hanbun+wëë sh-un=kana un yama
 FIL 捕る-NPST ハブ=TOP 半分 + 分ける.INF する-NPST=CSL その山.ACC1

⁶ 現地調査の実施にあたって、JSPS 科研費 JP24720180 「琉球語奄美方言文法記述のための基礎研究」、JSPS 科研費 JP15K16754 「与路島・請島を中心とした奄美大島方言の記述的研究」、JSPS 科研費 15J02695 「北琉球諸語の文法記述・ドキュメンテーション及び歴史的研究」の助成を受けている。

⁷ =nanji LOC1, =nan LOC2 のようにグロスの略号に数字を付して形態素を区別する場合がある。

⁸ 音声と異なる表記は以下のとおり：a[q], V[Ŷ], V_iV_i[V_i:], p[p~pʔ], k[k~x], g[g~ɣ], hw[ɸ], s[s~θ], z[z~dz~ð], sh[ç], ssh[çç], ch[tç], c'h[tçʔ], cch[ttç], j[dz~z], r[r], y[j], C'[Cʔ], Cy[Cʰ], Cw[Cʷ], n（音節末）[n~m~ŋ~ŋ̃]。なお、接語境界=は音節境界となる。

yusi-sho-rë=yoo=cchi i-shi urë i-ja-n wake=yoo
 教える-HON-IMP=ASS2=QUOT 言う-SEQ1 FIL 行く-PST-ADN わけ=ASS2
 ノブナリ兄が「その山を教える」と言うから、「捕るハブは山分けするから、そ
 の山を教えて下さいよ」と言って、行ったわけだよ。

- (2) ugashattu n'aa <juumeetaa> saki=nanji n'aa ishi=nu uu=nanji n'aa
 そうしたら FIL 10 メーター 先=LOC1 FIL 石=GEN1 上=LOC1 FIL
 habu=nu ma-shi yi-shu-n=kana
 ハブ=NOM2 巻く-SEQ1 座る-PROG-NPST=CSL
 そうしたら、10メートル先で、石の上でハブが（とぐろを）巻いて座っている
 から、

- (3) agëë agëë saki=nan dai=nu wu-t=too=cchi-shi n'aa
 INTJ INTJ 先=LOC2 大=NOM2 居る-NPST=ASS1=QUOT. 言う-SEQ1 FIL
 i-ji c'hakkana hikkë-ti n'aa gagi=ya nag-i-ti
 行く-SEQ1 すぐ 引っ掛ける-SEQ1 FIL ハブ取り棒=TOP 投げる-SEQ1
 (私は)「あっ、先に大きなのがあるよ」と言って、行ってすぐ（ハブを）引っ
 掛けて、ハブ取り棒を投げて、

- (4) kushi=nanji <hiryoobukuro> nanatsi yattsï=buri=ya mac-chi
 腰=LOC1 肥料袋.ACC1 七つ 八つ=ばかり=TOP 縛る-SEQ1
 u-sshan=kana <roopu> hwuc-chi un hokoro tury-un=chi
 PRF-PST=CSL ロープ.ACC1 解く-SEQ1 FIL 袋.ACC1 取る-NPST=QUOT
 sï-rïba
 する-COND1
 腰に肥料袋を七つ、八つばかり縛ってあったから、ロープを解いて袋を取ろう
 とすると、

- (5) pachi~pachi pachi~pachi wan=nu hagi sugury-un=kana
 OMP~RED OMP~RED 私=GEN1 足.ACC1 鞭打つ-NPST=CSL
 パチパチ、パチパチ、私の足を打っているから、

- (6) wan=ya hikkë-ta-n habu=nu duu un wan=nu hagi=ba
 私=TOP 引っ掛ける-PST-ADN ハブ=NOM2 どれどれ FIL 私=GEN1 足=ACC2
 uc-chur-oo=cchi umu-ti
 打つ-PROG.NPST-INFER1=QUOT 思う-SEQ1
 私は、引っ掛けたハブが、どれどれ、私の足を打っているんだろうと思って、

- (7) wan=ya n'aa <yukkuri~yukkuri> hokoro=nkya tu-ti un
私=TOP FIL OMP~RED 袋=APPR1 取る-SEQ1 FIL
hikkë-ta-n habu ni-shattu
引っ掛ける-PST-ADN ハブ.ACC1 見る-CIRC
私は、ゆっくりゆっくり袋なんかを取って、引っ掛けたハブを見たら、
- (8) wan=nu mēë=chi zubu=nu c'hu-n
私=GEN1 前=ALL 尻尾=NOM2 来る.PROG.NPST-NMLZ
da-roo=cchiba zubu=wa <hantai>=chi
COP.NPST-INFER1=QUOT. 言う.COND1 尻尾=TOP 反対=ALL
i-ju-n=kana
行く-PROG-NPST=CSL
私の方に尻尾が来ているんだろうと思ったら、尻尾は反対へ行っているから、
- (9) hajimī-ti hagi=nu mutu ni-shattu
はじめる-SEQ1 足=GEN1 元.ACC1 見る-CIRC
はじめて足元を見たら、
- (10) n'aa wan=nu ti=nu mēë=garī urë un <konna> k'uru-sa-n
FIL 私=GEN1 手=GEN1 前=LMT FIL FIL こんな 黒い-ADJ.NPST-ADN
habu=nu gaashi un kamachi agi-ti n'aa siba ija-shi un
ハブ=NOM2 こう FIL 頭.ACC1 上げる-SEQ1 FIL 舌.ACC1 出す-SEQ1 FIL
私の手の前まで、こんな黒いハブが、こう、頭を上げて舌を出して、
- (11) <gasuranpu>=wa mēë=chi u-sshan=kana ugan un <gasuranpu>=nu
ガスランプ=TOP 前=ALL 置く-PST=CSL そちらへ FIL ガスランプ=GEN1
m'atsi=chi ut-oo=cchi shu-n=kana
火=ALL 打つ-INT1=QUOT する.PROG-NPST=CSL
ガスランプを、前へ置いてあるから、そっちへ、そのガスランプの火に襲いか
かろうとしているから、
- (12) habuu=cchi abi-ti wan=ya n'aa agan wudukki-ta-n wake=yo
ハブ=QUOT 叫ぶ-SEQ1 私=TOP FIL あちらへ 跳びのく-PST-ADN わけ=ASS2
「ハブー」って叫んで、私は向こうへ跳びのいたわけだよ。
- (13) ugashattu nuuga y'aa ugashi habu hikkë-tu-ti
そうしたら なぜ 2.SG.TOP そう ハブ.ACC1 引っ掛ける-PROG-SEQ1

habu=cchi yumuta=nu a-n=nyaa=cchi nobunari+ani=ga..
 ハブ=QUOT ことば=NOM2 ある-NPST=YNQ=QUOT ノブナリ + 兄=NOM1
 そうしたら、「なんで、お前はそうやってハブを引っ掛けていて、ハブと叫ぶ
 やつがあるか (lit. ハブということばがあるか)」とノブナリ兄が (言っ

- (14) urë uma=nanji wu-k=kanaa=cchi-chattu=ga
 FIL そこ=LOC1 居る-NPST=SFP=QUOT. 言う-CIRC=FOC2
 y'ee=cchi-shi n'aa nobunari+ani=ya n'aa wuduc-chi
 INTJ=QUOT. 言う-SEQ1 FIL ノブナリ + 兄=TOP FIL 驚く-SEQ1
 (私が)「そこに居るじゃないか」って言ったら、「えーっ」と言っ
- (15) hagëë y'aa ugashi un habu=tu nara-du-ti un habu=nji
 INTJ 2.SG.TOP そう FIL ハブ=COM 並ぶ-PROG-SEQ1 FIL ハブ=DAT
 k'uw-ar-an-tan=yangaa=cchi i-shi
 囁む-PASS-NEG-PST=SFP=QUOT 言う-SEQ1
 「お前はそんなにハブの近くにいて、ハブに囁まれなかったんだね」と言っ
- (16) shattu n'aa <ranpu> tur-oo=cchiba n'aa
 する.CIRC FIL ランプ.ACC1 取る-INT1=QUOT. 言う.COND1 FIL
 <ranpu>=nu uu=garï un n'aa+t'itsi=nu habu=nu uma=nanji
 ランプ=GEN1 上=LMT FIL もう + 一つ=GEN1 ハブ=NOM2 そこ=LOC1
 kamachi agi-tu-n=kana
 頭.ACC1 上げる-PROG-NPST=CSL
 そうしたら、ランプを取ろうとすると、ランプの上まで、もう一匹のハブがそ
 こで頭を上げているから、
- (17) n'aa un nagë+gama nobunari+ani=ya muc-chu-tan=kana urë un
 FIL FIL 長い + 鎌.ACC1 ノブナリ + 兄=TOP 持つ-PROG-PST=CSL FIL FIL
 kama tu-ti un <gasuranpu> hikkë-ti n'aa un
 鎌.ACC1 取る-SEQ1 FIL ガスランプ.ACC1 引っ掛ける-SEQ1 FIL FIL
 tu-ti
 取る-SEQ1
 長鎌をノブナリ兄は持っていたから、鎌を取って、ガスランプを引っ掛けて
 取って、

- (18) n'aa hikkë-ta-n habu=wa n'aa un hikkë-rat-ta-n
 FIL 引っ掛ける-PST-ADN ハブ=TOP FIL FIL 引っ掛ける-PASS-PST-ADN
 mama agan zubu na-shi wu-tan=kana
 まま あちらへ 尻尾.ACC1 なす-SEQ1 居る-PST=CSL
 引っ掛けたハブは、引っ掛けられたまま向こうへ尻尾をやっていたから、
- (19) n'aa un habu=wa shaa=chi hau-ti ky-un=kana hagëë n'aa
 FIL FIL ハブ=TOP 下=ALL 這う-SEQ1 来る-NPST=CSL INTJ FIL
 dïru=ka mingi-rëë=cchi nobuani+ani=ya..
 どれ=INDEF 捕まえる-IMP=QUOT ノブナリ + 兄=TOP
 そのハブは下へ這って来るから、「どれか捕まえろ」とノブナリ兄は（言う
 から）、
- (20) ai n'aa+t'itsi=ya hikkë-ti u-sshan=kana ara
 いや もう + 一つ=TOP 引っ掛ける-SEQ1 PRF-PST=CSL あれ.TOP
 dogë-ran=kana n'aa kun habu=ba saki mingi-mai
 動く-NEG=CSL FIL このハブ=ACC2 先 捕まえる-INF-OBLG
 jaa=cchi-shi
 COP.NPST=QUOT. 言う-SEQ1
 「いや、もう一匹は引っ掛けてあるから、あれは動かないから、このハブを先
 に捕まえないといけない」と言って、
- (21) <c'hotto> shaa=nu kï=nu.. koo=nu <naka>=nanji kïngabu⁹=nu
 ちょっと 下=GEN1 木=GEN1 川=GEN1 中=LOC1 切り株=NOM2
 a-ti n'aa uk=ka shaa=chi hoc-chi i-ji uma=ji
 ある-SEQ1 FIL それ=GEN2 下=ALL 入る-SEQ1 行く-SEQ1 そこ=LOC4
 goo maky-un=kana
 とぐる.ACC1 巻く-NPST=CSL
 ちょっと下の川の中に切り株があって、(ハブが) その下へ入って行ってそこ
 でとぐるを巻くから、
- (22) ai n'aa n'aa goo ma-shan=kana un habu=wa
 いや FIL FIL とぐる.ACC1 巻く-PST=CSL そのハブ=TOP
 dogë-ran=kana=cchi-shi n'aa un sakki hikkë-ta-n
 動く-NEG=CSL=QUOT. 言う-SEQ1 FIL FIL さっき 引っ掛ける-PST-ADN

⁹ kï-n+gabu (木-CM+ こぶ)。

- habu=ba tu-ti hokoro=cchi iri-ti
 ハブ=ACC2 取る-SEQ1 袋=ALL 入れる-SEQ1
 「いや、とぐろを巻いたから、そのハブは動かないから」と言って、さっき引っ
 掛けたハブを取って袋へ入れて、
- (23) n'aa n'aa hagëë y'aa ugashi habu=tu nara-di
 FIL FIL INTJ 2.SG.TOP そう ハブ=COM 並ぶ-SEQ1
 「お前はそうハブと並んで..」(とノブナリ兄は言った。)
- (24) n'aa habu=wa un goo ma-shu-k=ka buchi=nanji
 FIL ハブ=TOP FIL とぐろ.ACC1 巻く-PROG-NPST=ADVRS2 傍=LOC1
 waa tac-chu-tan=kana
 1.SG.TOP 立つ-PROG-PST=CSL
 ハブはとぐろを巻いているが、傍に私は立っていたから、
- (25) n'aa un ugashi <gasuranpu> uri un mëë=chi u-ssha-n okagë=shi
 FIL FIL そう ガスランプ.ACC1 FIL FIL 前=ALL 置く-PST-ADN お陰=INST
 m'atsi=cchi n'aa un habu=wa n'aa <shuuchuu> sh-un=kana
 火=ALL FIL FIL ハブ=TOP FIL 集中.ACC1 する-NPST=CSL
 こう、ガスランプを前へ置いたお陰で、火にハブは集中するから、
- (26) urë un wan=nu tiï=daka un kamachi=nu mëë=garï ti=ya
 FIL FIL 私=GEN1 手=ADD2 FIL 頭=GEN1 前=LMT 手=TOP
 a-n=ba k'uw-an-ta-n wake=yo ugashi
 ある-NPST=ADVRS1 囁む-NEG-PST-ADN わけ=ASS2 そう
 私の手も、(ハブの) 頭の前まで手はあるけど囁まなかったわけだよ、そう
 やって、
- (27) n'aa un habu tu-ti mata un kingabu kë-ra-shi un
 FIL FIL ハブ.ACC1 捕る-SEQ1 また FIL 切り株.ACC1 転がる-CAUS-SEQ1 FIL
 habu=daka tu-ti
 ハブ=ADD2 捕る-SEQ1
 そのハブを捕ってまたその切り株を動かしてそのハブも捕って、
- (28) hagëë y'aa ugashi uga+naga habu=tu nara-du-ti
 INTJ 2.SG.TOP そう そう + 長い ハブ=COM 並ぶ-PROG-SEQ1
 k'uw-ar-an-tan=yangaa=cchi
 囁む-PASS-NEG-PST=SFP=QUOT

「お前は、そんなに長くハブの近くにいて、囓まれなかったんだね」って、

- (29) n'aa mata <kondo>=wa hwuka=nu saku=nu a-n=chi-shi
 FIL また 今度=TOP 他=GEN1 谷=NOM2 ある-NPST=QUOT. 言う-SEQ1
 ugan i-jattu n'aa un hak+ku+gwatsi a-n=kana urë n'aa muzi..
 そちらへ行く-CIRC FIL FIL 八+九+月 COP-NPST=CSL FIL FIL 水
 koo=nu muzi=ga k'iri-tu-n=kana
 川=NOM2 水=NOM1 切れる-PROG-NPST=CSL
 また今度は、他の谷があると言って、そっちへ行ったら、八、九月だから川の
 水が切れているから、
- (30) n'aa maagan=nu n'aa n'aa too+amari=buri jiki n'aa un
 FIL マーガン¹⁰=NOM2 FIL FIL 十+余り=ばかり やがて FIL FIL
 c'hu+toro=chi.. atsimã-ti n'aa patan~patan uma-gudari n'aa
 一+ところ=ALL 集まる-SEQ1 FIL OMP~RED そこ-APPR2 FIL
 maagan=nu <ippai> wu-n=kana
 マーガン=NOM2 いっぱい居る-NPST=CSL
 マーガンが10匹余りくらい一箇所にやがて集まって、パタンパタン、そのあ
 たりにマーガンがたくさんいるから、
- (31) nobunari+ani n'aa maagan <ushiro>=ra
 ノブナリ+兄 FIL マーガン.ACC1 後ろ=ABL
 ming-o=ii=cchi-chattu=ga ai=cchi ak=ka
 掴む-INT1=SFP=QUOT. 言う-CIRC=FOC2 いいや=QUOT あれ=NOM1
 y'-un=kana=ga
 言う-NPST=CSL=FOC2
 「ノブナリ兄、マーガンを後ろから掴むね」と言ったら「いいや」と彼が言う
 から、
- (32) hagë=cchi i-shi un maagan nisi-rība habuu=chi
 INTJ=QUOT 言う-SEQ1 FIL マーガン.ACC1 見せる-COND1 ハブ=QUOT
 ak=ka abī-n=kana.. nobunari+ani=ga <ushiro>=ra
 あれ=NOM1 叫ぶ-NPST=CSL ノブナリ+兄=NOM1 後ろ=ABL

¹⁰ 和名モクズガニ、ヤマタロウガニ。川に棲息する大きめのカニの一種で、食用になる。ハサミの部分に毛が生えている。

abi-n=kana

叫ぶ-NPST=CSL

「あれ?」と言って、マーガンを（ノブナリ兄に）見せたら、「ハブ」と彼が叫ぶから、ノブナリ兄が後ろから叫ぶから、

- (33) waa n'aa wudukk-itsiki-ti uri uk=ka <mae> n'aa un habu=tu
 1.SG.TOP FIL 驚く-EMPH-SEQ1 FIL それ=GEN2 前 FIL FIL ハブ=COM
 nara-du-tan=kana mata wan=nu buchi=nanji wu-ti
 並ぶ-PROG-PST=CSL また 1.SG=GEN1 傍=LOC1 居る-SEQ1
 ja=cchi umu-ti
 COP.NPST=QUOT 思う-SEQ1

私はとても驚いて、その前にハブの近くにいたから、また私の傍に（ハブが）いたんだと思って、

- (34) n'aa agan wudukki-tattu
 FIL あちらへ 跳びのく-CIRC
 向こうへ跳びのいたら、

- (35) hagëë wa=ga tac-chu-n buchi=nanji habu=wa n'aa
 INTJ 1.SG=NOM1 立つ-PROG.NPST-ADN 傍=LOC1 ハブ=TOP FIL
 ura mata kamachi shaa=chi kaashi n'aa sagi-ti hirëhwu-chi
 それ.TOP また 頭.ACC1 下=ALL こう FIL 下げる-SEQ1 ひれ伏す-SEQ1
 un habu=wa yoori shu-ti
 そのハブ=TOP ゆっくり する.PROG-SEQ1

私が立っているそばで、ハブは、（今度の）それはまた頭を下へこう下げて、ひれ伏して、そのハブはゆっくりしていて、

- (36) hagëë nuga=kai
 INTJ なぜ=DUB
 「あれ、なんでかな」

- (37) n'aa sakkini=chiba ugashi n'aa mata ugashi un habu=daka
 FIL さつき=QUOT. 言う.COND1 そう FIL また こう そのハブ=ADD2
 hikkë-ti tur-i=ya shan=ba n'aa~n'aa~n'aa
 引っ掛ける-SEQ1 捕る-INF=TOP する.PST=ADVR1 もう ~RED~RED
 mudur-oo nobunari+ani=cci-chattu
 戻る-INT1 ノブナリ + 兄=QUOT. 言う-CIRC

さっきは、こう、また、こう、そのハブも引っ掛けて捕りはしたけれど、「もう戻ろう、ノブナリ兄」と言ったら、

- (38) kuk=kara saki=cchiba n'annari wu-n=kamu=doo=cchi
 これ=ABL 先=QUOT. 言う.COND もう少し 居る-NPST=INFER2=ASS1=QUOT
 nobunari+ani=ya ii=ya shan=ba
 ノブナリ + 兄=TOP 言う.INF=TOP する.PST=ADVRS1

「これから先はもう少し居るかもだよ」と、ノブナリ兄は言いはしたが、

- (39) ai <nikwai>=gari kashi shi habu=nu buchi=ji
 いいや 二回=LMT こう する.SEQ1 ハブ=GEN1 傍=LOC4
 tac-chu-ti <sankaim>=ya k'uw-ari-kkwa sh-un=ganu
 立つ-PROG-SEQ1 三回目=TOP 嘯む-PASS.INF-DIM する-NPST=COMP
 wakar-an=kana n'aa~n'aa~n'aa mudur-oo=cchi-shi urë
 分かる-NEG.NPST=CSL もう ~RED~RED 戻る-INT1=QUOT. 言う-SEQ1 FIL
 mudu-ti si-cha-n ja=ga
 戻る-SEQ1 来る-PST-NMLZ COP.NPST=SFP

「いや、二回までこうしてハブの傍に立っていて、三回目は嘯まれるかもしれないから、もう戻ろう」と言って戻ってきたんだけど、

- (40) haggë un yuru=burì=ya un habu=tu nara-dì un habu=wa
 INTJ その 夜=ばかり=TOP FIL ハブ=COM 並ぶ-SEQ1 その ハブ=TOP
 ny-an-zì un
 見る-NEG-SEQ1 FIL

その夜ばかりは、ハブの近くにおいて、そのハブは見ずに、

- (41) <nikwaime>=ya urë n'aa maagan=ga wu-tan=kana un maagan=chi
 二回目=TOP FIL FIL マーガン=NOM1 居る-PST=CSL その マーガン=ALL
 mii=ga i-ji hagi+mutu ni-shur-an
 目=NOM1 行く-SEQ1 足 + 元.ACC1 見る-PROG-NEG.NMLZ
 ja=gana=ccho
 COP.NPST=SFP=SFP

二回目は、マーガンが居たから、そのマーガンに目が行って、足元を見ていないんだよ。

- (42) n'aa un bun? (B)
 もう その 分

もう、そのぐらい？

- (43) in n'aa un yuru=wa n'aa yaa=chi mudur-iba n'aa uri=shi
 うん FIL その夜=TOP FIL 家=ALL 戻る-COND1 FIL それ=INST
 owar-i=yoo
 終わる-INF=ASS2
 うん、その夜は家に戻ったら、それで終わりだよ。

2.2 ケンムン話 1—山の崩れる音—

- (44) kīnmun=chi=ya mīi=chi ny-aarī=ya sī-ran=ba
 ケンムン=QUOT=TOP 目=ALL 見る-POT.INF=TOP する-NEG.NPST=ADVRS1
 utu=buri ija-shi kik-ash-u-n mun ja=gana
 音=ばかり 出す-SEQ1 聞く-CAUS-NPST-ADN もの COP.NPST=SFP
 ケンムンというのは、目に見えはしないけれど、音だけ出して聞かせるもの
 だよ。
- (45) unin=ya buchi=nanji kīnmun=ya wu-n mun=chukana
 そのとき=TOP 傍=LOC1 ケンムン=TOP 居る.NPST-ADN もの=REP
 そういうときは、傍にケンムンはいるものだそうだ。
- (46) wan=ya n'aa <syoogakkoonisannēn>=nu <koro>=raga urēē
 1.SG=TOP FIL 小学校二, 三年=GEN1 頃=ABL FIL
 私は、小学校二, 三年の頃から、
- (47) uya=ga <sumi>+yak-i shu-tī n'aa <kanarazu> urē un
 親=NOM1 炭+焼く-INF.ACC1 する.PROG-SEQ1 FIL 必ず FIL FIL
 <hii> noos-ī=chi i-shi
 火.ACC1 登らせる-IMP=QUOT 言う-SEQ1
 親が炭焼きをされていて、必ず、火を(薪木の上に)行き渡らせると言って、
- (48) n'aa kī=ya un tatīku-dī=kara=ga un <iriguchi>=nanji n'aa
 FIL 木=TOP FIL 立てて入れる-SEQ1=SEQ3=FOC2 FIL 入り口=LOC1 FIL
 don~don m'atsī mē-shi
 OMP~RED 火.ACC1 燃やす-SEQ1
 木は立てて入れてから、入り口でどンドン火を燃やして、
- (49) un yunsagaatu m'atsī mē-shi un kī=nu hana=chi m'atsī=nu
 FIL 一晩中 火.ACC1 燃やす-SEQ1 FIL 木=GEN1 端=ALL 火=NOM2

tsiky-u-n=gari

点く-NPST-NMLZ=LMT

一晩中火を燃やして、木の先端に火が点くまで、

- (50) yu=nu hwë-n=gari un ki iri-tu-ti m'atsi
 夜=NOM2 明ける.NPST-NMLZ=LMT FIL 木.ACC1 入れる-PROG-SEQ1 火.ACC1
 mësh-u-n ja=gana=ccho
 燃やす-NPST-NMLZ COP.NPST=SFP=SFP
 夜が明けるまで、木を入れていて、火を燃やすんだよ。

- (51) c'haa <kanarazu> yanyu¹¹=nu koo=ra c'hu-n un
 そう 必ず 屋入=GEN1 川=ABL 来る.PROGNPST-ADN FIL
 <naemae>=nu a-n yama a-ta-n ja=ga
 名前=GEN1 ある.NPST-ADN 山 COP-PST-NMLZ COP.NPST=ADVRS2
 wan=ba tsiri-ti iky-u-ta-n wake=yo.
 1.SG=ACC2 連れる-SEQ1 行く-IPFV-PST-ADN わけ=ASS2
 そう、必ず、屋入の川から来ている名前のある山だったんだが、私を連れて
 行っていたわけだよ。

- (52) waa <shoogakkoo>=nu <nisannënshei> a-n=kana=yaa
 1.SG.TOP 小学校=GEN1 二, 三年生 COP-NPST-ADN=CSL=SFP
 私は小学校の二, 三年生だからね。

- (53) ugashi y'-u-ti <juuji>=gari=ya y'a=ga m'atsi
 そう 言う-IPFV-SEQ1 10時=LMT=TOP 2.SG=NOM1 火.ACC1
 më-s-i=cchi-shi
 燃やす-IMP=QUOT. 言う-SEQ1
 そう言って、10時までは「お前が火を燃やせ」と言って、

- (54) <juuji>=gari=ya n'aa wan=ya n'aa un ki=nu hinar-iba ugan
 10時=LMT=TOP FIL 1.SG=TOP FIL FIL 木=NOM2 減る-COND1 そちらへ
 kii+iri~kiiiri shi urë m'atsi më-shi
 木 + 入れる-INF~RED する.SEQ1 FIL 火.ACC1 燃やす-SEQ1
 10時までは、私は、木が減るとそこに繰り返し木を入れて、火を燃やして、

¹¹ 龍郷町内の集落の一つ。

- (55) n'aa <juuji> sig-iba n'aa y'aa n'aa ama=ji
 FIL 10時.ACC1 過ぎる-COND1 FIL 2.SG.TOP FIL あっち=LOC4
 nĩbur-i=cchi i-shi
 眠る-IMP=QUOT 言う-SEQ1
 10時を過ぎると、「お前は向こうで寝ろ」と言って、
- (56) n'aa yu=nu hwẽ-n=garĩ <kondo>=wa uk=ka atu=wa
 FIL 夜=NOM2 明ける.NPST-NMLZ=LMT 今度=TOP それ=GEN2 後=TOP
 uya=ga m'atsĩ mẽ-shu-ta-n wake=yo
 親=NOM1 火.ACC1 燃やす-PROG-PST-ADN わけ=ASS2
 夜が明けるまで、今度は、その後は親が火を燃やしていたわけだよ。
- (57) ugashattu n'aa m'atsĩ mẽ-shi n'aa y'aa=ya
 そうしたら FIL 火.ACC 燃やす-SEQ1 FIL 2.SG=TOP
 nĩbur-i=cchi-chattu
 眠る-IMP=QUOT. 言う-CIRC
 そうしたら、火を燃やして、「お前は寝ろ」と言ったから、
- (58) wan=ya un <sumi+gama>=nu buchi=ji un dattsu=cchi i-shi un
 1.SG=TOP FIL 炭+窯=GEN1 傍=LOC4 FIL ゴザ=QUOT 言う-SEQ1 FIL
 an zẽki=shi.. zẽki=cchi-ba <susuki> uri=shi
 あの ススキ=INST ススキ=QUOT. 言う-COND1 ススキ それ=INST
 a-da-n urĩ=ba shi-chi uk=ka uu=ji
 編む-PST-NMLZ それ=ACC2 敷く-SEQ1 それ=GEN2 上=LOC4
 noo-tur-ĩba n'aa
 乗る-PROG-COND1 FIL
 私は炭窯の傍でダッツ（ゴザ）と言って、ゼキ（ススキ）で、ゼキっていろのはススキ、それで編んだもの、それを敷いて上に乗っていたら、
- (59) koton~koton n'aa n'aa uu=raga ishi=nu kẽ-tĩkĩ-tĩ koron~koron
 OMP~RED FIL FIL 上=ABL 石=GEN1 転がる-INCH-SEQ1 OMP~RED
 n'aa ishi=nu kẽ-tĩ ky-u-n wake=yo
 FIL 石=NOM1 転がる-SEQ1 来る-NPST-ADN わけ=ASS2
 コトンコトン、上から石が転がりだして、コロンコロン、石が転がってくるわけだよ。

- (60) ugashattu agëë=cchi-shi wan=ya n'aa n'aa un tamaga-ti
 そうしたら INTJ=QUOT. 言う-SEQ1 1.SG=TOP FIL FIL FIL 怖がる-SEQ1
 c'han mëë=chi uri-ti un <sumi+gama>=nu un joo+guchi=chi
 父 前=ALL 降りる-SEQ1 FIL 炭 + 窯=GEN1 FIL 門 + 口=ALL
 uri-ti i-ja-n wake=yo
 降りる-SEQ1 行く-POST-ADN わけ=ASS2
 それで、「あっ」と言って、私は怖がって父のところへ降りて、その炭窯の入り
 口へ降りていったわけだよ。
- (61) ugashattu c'han=ga yama=chi muka-ti hagëë un shiba=chi un
 そうしたら 父=NOM1 山=ALL 向かう-SEQ1 INTJ FIL 枯れ枝=ALL FIL
 ishi=nu kaa-tu-ta-n ja=ga
 石=NOM2 掛かる-PROG-POST-NMLZ COP.NPST=ADVRS2
 kaa-tu-ta-n ishi=nu uti-ta=yaa=cchi un yama=chi
 掛かる-PROG-POST-ADN 石=NOM2 落ちる-POST=SFP=QUOT FIL 山=ALL
 muka-ti un uya=nu abi-tattu
 向かう-SEQ1 FIL 親=NOM2 呼ぶ-CIRC
 そうしたら、父が山へ向かって、「枯れ枝に石が載っかっていたんだが、載っ
 かっていた石が落ちたな」って、山へ向かって親が叫んだら、
- (62) n'aa pita=cchi shi n'aa un utu=ga nën na-ti
 FIL OMP=QUOT する.SEQ1 FIL FIL 音=NOM1 ない.NPST.NMLZ なる-SEQ1
 ピタッとして音がなくなって、
- (63) n'aa waa uturu-sha-nu n'aa un yama=nu k'uziri-ti
 FIL 1.SG.TOP 怖い-ADJ-SEQ2 FIL FIL 山=NOM2 崩れる-SEQ1
 ky-un=chi umu-ti n'aa koton~koton ishi=nu kë-ti
 来る-NPST=QUOT 思う-SEQ1 FIL OMP~RED 石=NOM2 転がる-SEQ1
 ky-u-n utu=ya shu-n=ban t'iici=shima ishi=ya
 来る-NPST-ADN 音=TOP する.PROG.NPST-ADN=ADVRS1 一つ=ADD3 石=TOP
 k-i=ya si-ran wake=yo
 来る-INF=TOP する-NEG.NPST.ADN わけ=ASS2
 私は怖くて、山が崩れて来ると思って、コトンコトン、石が転がってくる音は
 しているけれど、一つも石は来はしないんだよ。
- (64) ugashattu <yappari> un uya=nu iiba ara un
 そうしたら やっぱり FIL 親=NOM2 言う.COND1 あれ.TOP FIL

kīnmun=nu kooro=ba n-i+kata=cchukana

ケンムン=NOM2 心=ACC2 見る-INF+ 方=REP

そしたらやっぱり親が言うには、「あれはケンムンが心を見ている」って。

- (65) ugashi=du ugan yumuguchi shaari ishi nagī-tari sī-riiba
 そう=FOC1 そちらへ 悪口.ACC1 する.LST 石.ACC1 投げる-LST する-COND1

jiki un <okaeshi>.. hinbo tury-un=chi-shi

やがて FIL お返し お返し.ACC1 取る-NPST=QUOT. 言う-SEQ1

「そっちへ悪口を言ったり、石を投げたりしたら、やがてお返しをされる」と
 言って、

- (66) n'aa agashan toki=ya <issai> un ishi nagī-tari waruguchi i-shari
 FIL あんな とき=TOP 一切 FIL 石.ACC1 投げる-LST 悪口.ACC1 言う-LST

ugashi=ya sī-nna=yo=cchi

そう=TOP する-PROH=ASS2=QUOT

「あんな時は、一切、石を投げたり悪口を言ったり、そういうことはするな
 よ」って、

- (67) un uya=nu i-sha-n kutu=nu a-ta-n ja=ga

FIL 親=NOM2 言う-PST-ADN こと=NOM2 ある-PST-NMLZ COP.NPST=SFP

親が言ったことがあったんだよね。

- (68) agëë <tonikaku> mī=chi ny-aarī=ya sī-ran-ba utu
 INTJ とにかく 目=ALL 見る-PASS.INF=TOP する-NEG-COND1 音.ACC1

ija-shi kik-ash-u-n ja=gana=ccho un

出す-SEQ1 聞く-CAUS-NPST-NMLZ COP.NPST=SFP=SFP FIL

kīnmun=chu-n=ya

ケンムン=QUOT. 言う.NPST-NMLZ=TOP

とにかく、目で見えはしないけれど、音を出して聞かせるんだよ、そのケンム
 ンというものは。

2.3 ケンムン話 2—木の倒れる音—

- (69) n'aa <nankwai>=cchi wan n'aa habu tur-iga urë n'aa

FIL 何回=QUOT 1.SG FIL ハブ.ACC1 捕る-PURP FIL FIL

<nanjuunën>=chi n'aa zuuttu n'aa du-n+c'huri yama=nu saku

何十年=QUOT FIL ずっと FIL REFL-CM+ 一人 山=GEN1 谷.ACC1

ac-chu-n=kana

歩く-PROG-NPST=CSL

何回と、私、ハブを捕りに、何十年とずっと自分一人、山の谷を歩いているから、

- (70) aggë c'hokori=ya unu uma=nu mää+yama=cchi-shi
INTJ 一回=TOP FIL そこ=GEN1 前+山=QUOT. 言う-SEQ1
一回は、そののメーヤマと言って、
- (71) uma=nu yama=ji=ya c'haa mukashi=raga kinmun=nu
そこ=GEN1 山=LOC4=TOP そう 昔=ABL ケンムン=NOM1
wu-n=chi y'-u-ta-n ja=ga
居る-NPST=QUOT 言う-IPFV-PST-NMLZ COP.NPST=SFP
そのの山では、そう、昔からケンムンが居るって言っていたんだよ。
- (72) n'aa utumara-ka
FIL 不思議-ADJ
不思議だ。
- (73) n'aa wa=ga un saku-gudari uu=chi ac-chi ik-iba n'aa
FIL 1.SG=NOM1 FIL 谷-APPR2 上=ALL 歩く-SEQ1 行く-COND1 FIL
pon~pon pon~pon n'aa un dää=ba k'ungury-un=nishan..
OMP~RED OMP~RED FIL FIL 竹=ACC2 踏み折る-NPST=ような
私が谷のあたりで上へ歩いて行くとポンポンポンポン竹を踏んで折るような
(音がして)、
- (74) n'aa un c'haa un kashi gina-sa-n dë-kkwa=nu
FIL FIL そう FIL こう 小さい-ADJ.NPST-ADN 竹-DIM=NOM2
a-n=ba ugashi=gari pon~pon nary-u-n utu=nu
ある-NPST=ADVRS1 そう=LMT OMP~RED 鳴る-NPST-ADN 音=NOM2
sh-un=nishan dää=gari=ya nën ja=ga=cchi
する-NPST=ような 竹=LMT=TOP ない.NPST.NMLZ COP.NPST=SFP=QUOT
umu-iba n'aa
思う-COND1 FIL
そう、こんな小さな竹があるけれど、そんなにまでポンポン鳴る音がするよ
うな (大きな) 竹まではないのに、と思うと、

- (75) n'aa pon~pon pon~pon n'aa zuuttu un wan=tu nara-dī un
 FIL OMP~RED OMP~RED FIL ずっと FIL 1.SG=COM 並ぶ-SEQ1 FIL
 dēë=ba k'ungury-un=nishan utu sh-u-n wake
 竹=ACC2 踏み折る-NPST=ような 音.NOM3 する-NPST-ADN わけ
 ポンポン, ポンポン, ずっと私の近くで竹を踏んで折るような音がしている
 わけ。
- (76) ugashattu n'aa utumara-ka-nu ushi-nubashin hingi-tu-tī dēë
 そうしたら FIL 不思議-ADJ-SEQ2 ウシ-APPR3 逃げる-PROG-SEQ1 竹.ACC1
 k'ungu-tī akky-un=kai=cchi umu-tī
 踏み折る-SEQ1 歩く-NPST=DUB=QUOT 思う-SEQ1
 それで, 不思議で, 「ウシか何かが逃げていて, 竹を踏んで折って歩くのかな」
 と思って,
- (77) n'aa waa un saku=raga n'aa un utu shu-n
 FIL 1.SG.TOP FIL 谷=ABL FIL FIL 音.NOM3 する.PROG.NPST-ADN
 doro=chi iji-tī mari o-tī un <gasuranpu> tsīkī-tī
 ところ=ALL 出る-SEQ1 後.ACC 追う-SEQ1 FIL ガスランプ.ACC 点ける-SEQ1
 ny-oo=cchi shanchi¹² ny-aar-an
 見る-INT1=QUOT する.CONC2 見る-POT-NEG.NPST
 私は, 谷からその音がしているところへ出て, 後を追ってガスランプを点けて
 見ようとしたって見えない。
- (78) pon~pon dēë=ya k'ungu-tu-n=nishi shu-n=ba
 OMP~RED 竹=TOP 踏み折る-PROG-NPST=ように する.PROG-NPST=ADVRS1
 dēë=daka uri-tur-an
 竹=ADD2 折れる-PROG-NEG.NPST
 ポンポン, 竹は踏んで折っているようだけれど, 竹も折れていない。
- (79) <tada> utu=buri shi
 ただ 音=ばかり する.SEQ1
 ただ音だけして,
- (80) ugashi a-n=kana wan=mu dēë+yama-gudari tsīgitsīgi un utu=nu
 そう COP-NPST=CSL 1.SG=ADD1 竹+山-APPR2 次々 その音=NOM1

¹² 逐語的には, 過去形-Tan と引用助詞=chi の連続である。

mari o-ti ny-anba¹³=cchi umu-ti un iky-un=ba
 後.ACC1 追う-SEQ1 見る-INT2=QUOT 思う-COND1 FIL 行く-NPST=ADVR1
 だから、私も竹山のあたりで、次々その音の後を追って見ようと思って行くけれど、

- (81) n'aa atu=wa utu=daka <jenjen> nän na-ti
 FIL あと=TOP 音=ADD2 全然 ない.NPST.NMLZ なる-SEQ1
 後は音も全然なくなって、
- (82) agë ugashi n'ama=gari dëë k'ungu-tu-n=nishan utu
 INTJ そう 今=LMT 竹.ACC1 踏み折る-PROG-NPST=ような 音.NOM3
 shu-tan=ba utu=nu nän=yaa=cchi umu-ti
 する.PROG-PST=ADVR1 音=NOM2 ない.NPST=SFP=QUOT 思う-SEQ1
 こう、今まで竹を踏んで折っているような音がしていたけれど、音がないな
 と思って、
- (83) n'aa mudur-anba=cchi umu-ti shu-n=ba jiki
 FIL 戻る-INT2=QUOT 思う-SEQ1 する.PROG-NPST=ADVR1 やがて
 戻ろうと思ってしているけれど、やがて、
- (84) n'aa shaa=nanji ugashi hwoo-sa-n ki=nkya=ya
 FIL 下=LOC1 そう 大きい-ADJ.NPST-ADN 木=APPR1=TOP
 nän doru=nu yama=nu n'aa gaccuri daiban+gi=nu n'aa
 ない.NPST.ADN ところ=GEN1 山=GEN1 FIL とても 大きい+木=NOM2 FIL
 k'ogë-n=nishan utu sha-n wake=yo
 倒れる-NPST=ような 音.NOM3 する.PST-ADN わけ=ASS2
 下で、こう、大きな木なんかはないところの山の、とても大きな木が倒れるよ
 うな音がしたわけだよ。
- (85) <anmari> wan=daka utumara-ka-ti n'aa un saku=chi n'aa mata un
 あんまり 1.SG=ADD2 不思議-ADJ-SEQ1 FIL その 谷=ALL FIL また FIL
 n'aa ugashi un ki=nu k'ogë-ti=kara=ga n'aa <jenjen> un n'aa
 FIL そう その 木=NOM2 倒れる-SEQ1=SEQ3=FOC2 FIL 全然 FIL FIL
 utu=mu nuu=mu nän=kana n'aa mata mudu-ti
 音=ADD1 何=ADD1 ない.PST=CSL FIL また 戻る-SEQ1

¹³ 逐語的には、否定条件形-Ran-ba (-NEG-COND1) である。

あんまり（にも）私も不思議で、その谷へ、またそう、木が倒れてから全然音も何もないから、また戻って、

- (86) n'aa un saku-gudari.. saku=cchiba un <tani>=yaa
 FIL その谷-APPR2 谷=QUOT. 言う.COND1 FIL 谷=SFP
 そのサク（谷）のあたりで、サクというのは谷ね、
- (87) uu-gudari uu=chi noo-ti iky-u-tattu poo=cchi shi
 上-APPR2 上=ALL 登る-SEQ1 行く-IPFV-CIRC OMP=QOUT する.SEQ1
 shiru-sa-n=nishi shu-n=nu wan=nu
 白い-ADJ-NPST=ように する.PROG.NPST-NMLZ=NOM2 1.SG=NOM2
 mää=raga yokogiry-un=kana
 前=ABL 横切る-NPST=CSL
 上のあたりへ、上に登って行っていたら、ポーツとして白っぽいものが私の前を横切るから、
- (88) akkë=cchi umu-ti nuu=ga a-ta-ru=cchi umu-ti mata
 INTJ=QUOT 思う-SEQ1 何=FOC2 COP-PST-DFC=QUOT 思う-SEQ1 また
 m'atsi tsiki-ti mata un i-ja-n doro=cchi c'hattu
 火.ACC 点ける-SEQ1 また FIL 行く-PST-ADN ところ=QUOT 来る.CIRC
 あれっと思って、何だったんだろうと思って、また火を点けて、また（白いものが）行ったところに来たら、
- (89) n'aa kasshan daiban+gä=nu a-ti un <naka>=ya n'aa nuu=mu
 FIL こんな 大きい+木=NOM2 ある-SEQ1 FIL 中=TOP FIL 何=ADD1
 nën n'aa kasshi maga-tu-n un ki=nu suku=ji
 ない.NPST.ADN FIL こう 曲がる-PROG.NPST-ADN FIL 木=GEN1 底=LOC4
 maya-kkwa=nu kashi shi ni-shi wan=ba kashi shi
 ネコ-DIM=NOM2 こう する.SEQ1 見る-SEQ1 1.SG=ACC2 こう する.SEQ1
 mabury-u-n ja=gana
 じっと見る-NPST-NMLZ COP.NPST=SFP
 こんな大きな木があって、中は何もない、こう、まがっている木の（穴の）底で、子猫がこうして見て、私をこうしてじっと見るんだよね。
- (90) ugashi a-n=kana kuri=ga n'aa un kinmun=nu baki-ti
 そう COP-NPST=CSL これ=NOM1 FIL FIL ケンムン=NOM2 化ける-SEQ1

shu-n jaa
 する.PROG.NPST-ADN COP.NPST

だから、これがケムンが化けてやっているんだ（と思って）、

- (91) un duki=n wakya uya=nu y'-u-n kutu=ga akkë maya
 そのとき=LOC5 1.PL 親=NOM2 言う-NPST-ADN こと=NOM1 INTJ ネコ
 nar-iba maya ja=ganaa in nar-iba in
 COP-COND1 ネコ COP.NPST=SFP イヌ COP-COND1 イヌ
 ja=ganaa=cchi i-shi n'aa un un ik-i=cchi-shi
 COP.NPST=SFP=QUOT 言う-SEQ1 FIL FIL FIL 行く-IMP=QUOT. 言う-SEQ1
 その時に、うちの親の言うことが、「ネコならネコだな、イヌならイヌだなと
 言って、行け」って言って、
- (92) ugashi shi n'aa <issai> un ari si-nna=cchi y'-un=kana
 そう する.SEQ1 FIL 一切 FIL あれ する-PROH=QUOT 言う-NPST=CSL
 waa ugashi shi i-jattu
 1.SG.TOP そう する.SEQ1 行く-PSTCIRC
 そして、「一切あれするな（石を投げたり悪口を言ったりするな）」って言うか
 ら、私はそうやって行ったら、
- (93) urë n'aa un maya-kkwa=chi n'aa na-ta-n an-an ugashi
 FIL FIL そのネコ-DIM=ALL FIL なる-PST-NMLZ COP-NEG.NPST そう
 shi
 する.SEQ1
 子ネコになったでしょ、そうやって、
- (94) akkë maya-kkwa ja=gana=cchi wan=ya i-shi n'aa urë
 INTJ ネコ-DIM COP.NPST=SFP=QUOT 1.SG=TOP 言う-SEQ1 FIL FIL
 i-jattu urë nuu=nu kutu=mu nën-zī waa n'aa
 行く-CIRC FIL 何=GEN1 こと=ADD1 ない-SEQ1 1.SG.TOP FIL
 utumara-ka-ti
 不思議-ADJ-SEQ1
 「あつ、子猫だな」と私は言って行ったら、何事もなくて、私は不思議で、
- (95) uk=kara naasha uya=nu mēë=chi i-ji hageë ugashi~ugashi
 それ=ABL 翌日 親=GEN1 前=ALL 行く-SEQ1 INTJ そう ~RED

a-tan=choo=cchi-shi

COP-PST=SFP=QUOT. 言う-SEQ1

それから翌日親のところへ行って、「かくかくしかじかだったんだ」と言って、

- (96) un kii=nu mangë-ta-n n'aa daiban+gi=nu nën
 FIL 木=NOM2 倒れる-PST-ADN FIL 大きい+木=NOM2 ない.NPST.ADN
 doro=nanji ugashan utu shan=kana ugan uma=ji
 ところ=LOC1 そんな 音.NOM3 する.PST=CSL そちらへ そこ=LOC4
 n-iga=doo=cchi-shi uya=nu mēë=chi wa=ga
 見る-PURP=ASS1=QUOT. 言う-SEQ1 親=GEN1 前=ALL 1.SG=NOM1
 i-sha-n wake=yo
 言う-PST-ADN わけ=ASS2

「木が倒れた（音が）、大きな木のないところでそんな音がしたから、そこへ見
 に（行く）よ」って親に私が言ったわけだよ。

- (97) ugashattu <baka> ja=ga y'aa=ga ugan i-janchi
 そうしたら 馬鹿 COP.NPST=SFP 2.SG=NOM1 そちらへ 行く-CONC2
 ugashi kii=nu k'ogë-tu-n=nya
 そう 木=NOM2 倒れる-PROG-NPST=YNQ

そうしたら、「馬鹿だな、お前がそこへ行ったって、木が倒れているものか」

- (98) dēë=mu uri-tur-an
 竹=ADD1 折れる-PROG-NEG.NPST
 「竹も折れていない」

- (99) <tada> utu=buri kik-a-shi y'a=nu.. y'a=ga kyasshi
 ただ 音=ばかり 聞く-CAUS-SEQ1 2.SG=GEN1 2.SG=NOM1 どう
 sh-uk=kai=cchi umu-ti un y'a=nu kooro+nii
 する-NPST=DUB=QUOT 思う-SEQ1 FIL 2.SG=GEN1 心+見る.INF
 ja=ga
 COP.NPST=SFP

「ただ音だけ聞かせて、お前がどうするかなって思って、お前の心を見ている
 んだよ」

- (100) yokëna ik-una=cchi uya=ga ara+gui tsika-yun=kana
 余計な 行く-PROH=QUOT 親=NOM1 荒い+声 使う-NPST=CSL
 「余計だ、行くな」って、親が声を荒げるから、

- (101) n'aa waa ik-an-ta-n ja=ga
 FIL 1.SG.TOP 行く-NEG-PST-NMLZ COP.NPST=SNP
 私は行かなかったんだよね。
- (102) un urë un unin+tuki ishi nagî-tari yumuguchi shari
 FIL FIL FIL そのとき + とき 石.ACC 投げる-LST 悪口.ACC1 する.LST
 sî-rîba jiki yunsagaatu yama-gudari suc-chi
 する-COND1 やがて 一晩中 山-APPR2 引く-SEQ1
 maash-un=chi=nu ii ja=gana
 まわす-NPST=QUOT=GEN1 言う .INF COP.NPST=SNP
 そのとき、石を投げたり、悪口を言ったりすると、やがて、一晩中山のあたり
 を引きまわすって言われているんだよね。

2.4 ケンムン話 3—崖を登る影—

- (103) aon=raga toguchi=chi urë maa-tî un umi=nu buchi-gudari
 アオン=ABL 戸口=ALL FIL まわる-SEQ1 FIL 海=GEN1 傍-APPR2
 ik-iba habu=nu wu-n=chi ki-chattu urë
 行く-COND1 ハブ=NOM2 居る-NPST=QUOT 聞く-CIRC FIL
 iky-u-ta-n wake=yo
 行く-IPFV-PST-ADN わけ=ASS2
 アオン¹⁴から戸口¹⁵へまわって、海の傍のあたりに行くとはブがいる、と聞いたから、行ってたわけだよ。
- (104) ugashi shattu shiru+hama.. sinaji=nu a-n doro=ba
 そう する.CIRC 白い+浜 砂地=GEN1 ある.NPST-ADN ところ=ACC2
 ac-chi iky-u-tattu mēë=raga makkuru shu-n
 歩く-SEQ1 行く-IPFV-CIRC 前=ABL 真っ黒 する.PROG.NPST-ADN
 kaata k'wa-kkwa+ushi-kkwa=nishi shu-n=nu
 なんだか子-DIM+ ウシ-DIM=ように する.PROG.NPST-NMLZ=GEN1
 ton~ton hashi-chi ky-u-n wake ugashi
 OMP~RED 走る-SEQ1 来る-NPST-ADN わけ そう
 そうしたら、白い浜、砂地のあるところを歩いて行っていたら、前から真っ黒

¹⁴ 龍郷町戸口集落にある浜辺。

¹⁵ 龍郷町内の集落の一つ。

のなんだか小ウシのようなものが、トントン走ってくるわけだよ、そう。

- (105) n'aa wan=nu buchi too-ti n'aa buu=cchi shi hashi-chi
 FIL 1.SG=GEN1 傍.ACC 通る-SEQ1 FIL OMP=QUOT する.SEQ1 走る-SEQ1
 iky-un=kana n-iba ashiketa=daka a-n=kana=yaa
 行く-NPST=CSL 見る-COND1 足跡=ADD2 ある-NPST=CSL=SFP
 私のそばを通って、ビューンと走って行くから、見ると足跡もあるからね。

- (106) ugashi a-n=kana waa mata un <gasuranpu> tsiki-ti
 そう COP-NPST=CSL 1.SG.TOP また FIL ガスランプ.ACC1 点ける-SEQ1
 akkë arī=ya in=du a-ta=kai ushi-kkwa=du
 INTJ あれ=TOP イヌ=FOC1 COP-PST=DUB ウシ-DIM=FOC1
 a-ta=kai=cchi umu-ti shattu n'aa kashi shi
 COP-PST=DUB=QUOT 思う-SEQ1 する.CIRC FIL こう する.SEQ1
 <ranpu> tsiki-ti n-iba
 ランプ.ACC1 点ける-SEQ1 見る-COND1
 だから、私はまたガスランプを付けて、「あれは犬だったかな、ウシだったかな」と思って、こうしてランプを点けて見ると、

- (107) n'aa un uk=ka uu=ya n'aa makkuru shu-n n'aa
 FIL FIL それ=GEN2 上=TOP FIL 真っ黒 する.PROG.NPST-ADN FIL
 sū=nu n'aa kashan taa-sa-n <gake> ja=gana
 背=GEN1 FIL こんな 高い-ADJ.NPST-ADN 崖 COP.NPST=SFP
 その上は、真っ黒で、背がこんなに高い崖なんだよ。

- (108) ugashan dorochi n'aa pyon~pyon wudukki-ti n'aa noo-ti
 そんな ところ=ALL FIL OMP~RED 跳ぶ-SEQ1 FIL 登る-SEQ1
 iky-u-n wake=yo
 行く-NPST-ADN わけ=ASS2
 そんなところへピョンピョン跳んで登って行くわけだよ。

- (109) akkë ugashi ushi=nu ugashan k'wa-kkwa=nishan=nu agashan
 INTJ そう ウシ=GEN1 そんな 子-DIM=のようなの=NOM2 あんな
 dorochi wudukki-ti noory-uk=ka
 ところ=ALL 跳ぶ-SEQ1 登る-NPST=SFP
 「あつ、こう、ウシの、こんな子どものようなのが、あんなところへ跳んで登っていくなあ」

- (110) utumara-sha=yaa=cchi umu-ti
 不思議-ADJ.NPST=SFP=QUOT 思う-SEQ1
 「不思議だなあ」と思って、
- (111) n'aa ashiketa n-iba n'aa uk=ka un hashi-cha-n ashiketa
 FIL 足跡.ASS1 見る-COND1 FIL それ=NOM1 FIL 走る-PST-ADN 足跡.NOM3
 <hakkiri> un sinaji=nanji iji-tu-n=kana urë
 はっきり FIL 砂地=LOC1 出る-PROG-NPST=CSL FIL
 足跡を見ると、それが走った足跡がはっきり砂地に出ているから、
- (112) ashiketa-gudari i-ji=kara uk=ka kun botë=nanji=du
 足跡-APPR2 行く-SEQ1=SEQ3 それ=NOM1 この辺=LOC1=FOC1
 noo-tak=ka=cchi umu-ti uu=chi kasshi <gasuranpu>
 登る-PST=SFP=QUOT 思う-SEQ1 上=ALL こう ガスランプ.ACC1
 tsiki-ti ni-shattu
 点ける-SEQ1 見る-CIRC
 足跡のあたりへ行ってから、それがこのへんで登ったと思って、上に、こうし
 て、ガスランプを点けて見ると、
- (113) n'aa kasshi un më+hagi=ya tati-ti n'aa kasshi wan=ba
 FIL こう FIL 前+足=TOP 立てる-SEQ1 FIL こう 1.SG=ACC2
 ni-shu-n wake=yo
 見る-PROG.NPST-ADN わけ=ASS2
 こうして前足を立てて、こう、私を見てるんだよ。
- (114) hakkëë kuri=ga.. kuri=ga kinmun ja=yaa=cchi umu-ti
 INTJ これ=NOM1 これ=NOM1 ケンムン COP.NPST=SFP=QUOT 思う-SEQ1
 「あつ、これがケンムンだな」と思って、
- (115) n'aa urë un uya=ga n'aa ugashan tuki=ya n'aa in nar-ĩba in
 FIL FIL FIL 親=NOM1 FIL そんな とき=TOP FIL イヌ COP-COND1 イヌ
 maya=tu ni-shu-n tuki=ya maya
 ネコ=COM 似る-PROG.NPST-ADN とき=TOP ネコ
 ja=gana=cchi-shi n'aa an-an hwuri
 COP.NPST=SFP=QUOT. 言う-SEQ1 FIL COP-NEG.NPST.ADN ふり.ACC1
 shi ik-an-ba ik-an=doo=cchi n'aa
 する-SEQ1 行く-NEG-COND1 いける-NEG.NPST=ASS1=QUOT FIL

y'-u-tan=kana

言う-IPFV-PST=CSL

親が、「そんなときはイヌならイヌ，ネコと似ているときはネコじゃないかって言って，そうじゃない（ケンムンじゃない）ふりをして，行かないといけないよ」って言っていたから

- (116) akkë in ja=ganaa=cchi i-shi wan=ya n'aa.. waa n'aa
 INTJ イヌ COP.NPST=SFP=QUOT 言う-SEQ1 1.SG=TOP FIL 1.SG.TOP FIL
 kinmun=chi umu-tan=kana n'aa an-an hwuri
 ケンムン=QUOT 思う-PST=CSL FIL COP-NEG.NPST.ADN ふり.ACC1
 shi n'aa saki=chi i-ji ugashattu un
 する.SEQ1 FIL 先=ALL 行く-SEQ1 そうしたら FIL
 「イヌじゃないか」と言って，私は，ケンムンだと思ったから，そうじゃないふりをして，先へ行って，そうしたら，
- (117) adan=nu n'iguri=nanji habu=nu wu-ti uri=ba
 アダン=GEN1 根元=LOC1 ハブ=NOM2 居る=SEQ3 それ=ACC2
 hikkë-ti n'aa uk=ka saki=gari i-jan=ba
 引っ掛ける-SEQ1 FIL それ=GEN2 先=LMT 行く-PST=ADVRS1
 アダンの根元にハブがいて，それを引っ掛けて，その先まで行ったけれど，
- (118) ari ja=ga=cchi umu-ti n'aa~n'aa~a'aa mudu-ti
 あれ COP.NPST=SFP=QUOT 思う-SEQ1 もう ~RED~RED 戻る-SEQ1
 あれだなと思って戻って，
- (119) shattu urë uk=ka hashi-cha-n n'aa uma shi-chattu
 する.CIRC FIL それ=NOM1 走る-PST-ADN FIL そこ.ACC 来る-CIRC
 <yappari> un ashiketa un mama a-n=kana=yaa
 やっぱり その足跡.NOM3 そのまま ある-NPST=CSL=SFP
 それで，それが走った場所に来たら，やっぱりその足跡がそのままあるからね，
- (120) ugashattu uk=kara wan=ba ni-shu-ta-n doro=wa
 そうしたら それ=ABL 1.SG=ACC2 見る-PROG-PST-ADN ところ=TOP
 <yappari> uma=ji yi-shu-n=kai=cchi umu-ti
 やっぱり そこ=LOC4 座る-PROG-NPST=DUB=QUOT 思う-SEQ1
 それで，そこから私を見ていたところは，やっぱりそこに座っているかなと思って，

- (121) n'aa kasshi <ranpu> uu=chi tëra-shi ni-shanchi n'aa n'aa
 FIL こう ランプ.ACC1 上=ALL 照らす-SEQ1 見る-CONC2 FIL FIL
 unin=ya uk=ka yi-shu-ta-n doro=ya n'aa
 そのとき=TOP それ=NOM1 座る-PROG-PST-ADN ところ=TOP FIL
 wur-an ja=gana
 居る-NEG.NPST.NMLZ COP.NPST=SFP
 こう、ランプを上へ照らして見たって、その時は、それが座っていたところは
 いないんだよね。
- (122) ugashattu=ga aa kuri=ya kinmun ja.. =du
 そうしたら=FOC2 INTJ これ=TOP ケンムン COP.NPST =FOC1
 a-ta-ru=yaa=cchi umu-ti urë
 COP-PST-DFC=SFP=QUOT 思う-SEQ1 FIL
 それで、これはケンムンだったなと思って、
- (123) shanchi urë wa=ga ishi nagï-tari yumuguchi
 する.CONC2 FIL 1.SG=NOM1 石.ACC1 投げる-LST 悪口.ACC1
 si-ran=kana n'aa kyan=shima nën
 する-NEG.NPST=CSL FIL どう=ADD3 ない.NPST
 でも、私が石を投げたり、悪口を言わないから何ともない。
- (124) n'aa unin=chiba k'uruma an-an-zi <ootobai>-kkwa
 FIL そのとき=QUOT. 言う.COND1 車 COP-NEG-SEQ1 オートバイ-DIM
 a-n=kana=yaa n'aa <ootobai> no-ti mudu-ti c'ha-n
 COP-NPST=CSL=SFP FIL オートバイ 乗る-SEQ1 戻る-SEQ1 来る.PST-NMLZ
 ja=gana
 COP.NPST=SFP
 そのときは車じゃなくてオートバイだからね、オートバイに乗って戻ってきた
 んだよね。
- (125) n'aa un yumuguchi si-riiba=ga <kanarazu> <shikaeshi>
 FIL FIL 悪口.ACC1 する-COND1=FOC2 必ず 仕返し.ACC1
 sh-un=chi wakya uya=ya y'-u-ta-n ja=gana
 する-NPST=QUOT 1.PL 親=TOP 言う-IPFV-PST-NMLZ COP.NPST=SFP
 「悪口を言ったら、必ず仕返しをする」って、うちの親は言っていたんだよね。

- (126) n'aa zuuttu wakya uya=nkya=ya n'aa yama+shigutu=buuri shu-ti
 FIL ずっと 1.PL 親=APPR1=TOP FIL 山 + 仕事=ばかり する.IPFV-SEQ1
 ずっとうちの親たちは山仕事ばかりしていて、
- (127) n'aa <sumi+gama>=cchiba n'aa yama=nanji kuma-tu-ti=daka
 FIL 炭 + 窯=QUOT. 言う.COND1 FIL 山=LOC1 籠もる-PROG-SEQ1=ADD2
 ugashi shi un kinmun=nu.. =nji n'aa ari
 そう する.SEQ1 FIL ケンムン=NOM2 =DAT FIL あれ
 si-rat-tu-n=kana
 する-PASS-PROG-NPST=CSL
 炭窯っていうと、山に籠もっていても、そうしてケンムンにあれされているか
 ら (だまされたりしているから)、
- (128) <issai> un yumuguchi i-shari ishi nag-i-tari ugashi=ya
 一切 FIL 悪口.ACC1 言う-LST 石.ACC1 投げる-LST そう=TOP
 si-nna=cchi=buri uya=ya y'-u-ta-n ja=gana
 する-PROH=QUOT=ばかり 親=TOP 言う-IPFV-PST-NMLZ COP.NPST=SFP
 「一切、悪口を言ったり、石を投げたり、そんなことはするな」とばかり、親は
 言っていたんだよね。
- (129) ugashi yama=nu usuji+michi=buri=du akky-u-n mun
 そう 山=GEN1 尾根 + 道=ばかり=FOC1 歩く-NPST-ADN もの
 a-n=kana
 COP-NPST=CSL
 こう、山の尾根の道ばかり歩くものだから、
- (130) n'aa mukashi+cchu=wa n'aa daa=ji=dën un kusu=daka
 FIL 昔 + 人=TOP FIL どこ=LOC4=CONC1 FIL 糞=ADD2
 mary-u-ro=ga=ccho
 排泄する-NPST-INFER1=SFP=SFP
 昔の人はどこでも大便もするだろ。
- (131) ugashi a-n=kana un naganë+michi=ji=ya <issai> kusu
 そう COP-NPST=CSL FIL 尾根 + 道=LOC4=TOP 一切 糞.ACC1
 man-na=cchi y'-u-ta-n ja=gana
 排泄する-PROH=QUOT 言う-IPFV-PST-NMLZ COP.NPST=SFP
 だから、「尾根の道では一切大便をするな」と言っていたんだよね。

- (132) naganë+michi=raga shaa=chi urī-tī shaa=ji kusu=wa mar-ī
 尾根 + 道=ABL 下=ALL 降りる-SEQ1 下=LOC4 糞=TOP 排泄する-IMP
 「尾根の道から下へ降りて、下で大便はしろ」
- (133) naganë+michi=ji ma-tangari¹⁶=ya ut-ta=ga uri
 尾根 + 道=LOC4 排泄する-COND2=TOP それ-PL=NOM1 それ.ACC1
 k'u-dangari=ya nētaku na-tī hinbo
 踏む-COND2=TOP 憎らしく なる-SEQ1 仕返し.ACC1
 tur-arī-n=kana=cchi-shi
 取る-PASS-NPST=CSL=QUOT. 言う-SEQ1
 「尾根の道で大便をしたら、そいつらが大便を踏んだら、怒って仕返しをされるから」と言って、
- (134) <issai> un yama=nan usuji-gudari=nkya=ya kusu=ya
 一切 FIL 山=LOC2 尾根-APPR2=APPR1=TOP 糞=TOP
 man-na=cchi y'-u-tan=doo
 排泄する-PROH=QUOT 言う-IPFV-PST=ASS1
 「一切、山で、尾根のあたりでなんかは大便はするな」って言っていたよ。
- (135) uu=buri akky-un=ch-u-n kutu ja=yaa (B)
 上=ばかり 歩く-NPST=QUOT. 言う-NPST-ADN こと COP.NPST=SFP
 上ばかり歩くということだね。
- (136) in naganë+michi=buri akky-u-n mun a-n=kana
 うん 尾根 + 道=ばかり 歩く-NPST-ADN もの COP-NPST=CSL
 うん、尾根の道ばかり歩くものだから、
- (137) n'aa un urë n'aa nētaku nary-un=chukana kinmun=ya ugashi
 FIL FIL FIL FIL 憎らしく なる-NPST=REP ケンムン=TOP そう
 怒るそうだ、ケンムンは、そう、
- (138) ugashi a-n=kana <issai> un naganë=nanji=ya kusu=daka
 そう COP-NPST=CSL 一切 FIL 尾根=LOC1=TOP 糞=ADD2
 man-na=cchi i-shi
 排泄する-PROH=QUOT 言う-SEQ1
 だから、「一切尾根では大便もするな」と言って、

¹⁶ 逐語的には過去形-Tan と限界格助詞=garīの連続である。

- (139) ugashi a-n=kana wan=ya <yappari> urī=ya ki-chi un
 そう COP-NPST=CSL 1.SG=TOP やっぱり それ=TOP 聞く-SEQ1 FIL
 usuji=ra shaa=chi urī-tī=du n'aa ugashi kusu
 尾根=ABL 下=ALL 降りる-SEQ1=FOC1 FIL そう 糞
 ma-tari=daka sh-u-ta-n ja=gana=ccho
 排泄する-LST=ADD2 する-IPFV-PST-NMLZ COP.NPST=SFP=SFP
 だから、私はやっぱりそれは聞いて、丘から下へ降りて、こう、大便したりも
 していたんだよ。

グロス略号一覧

1	first person	一人称	DIM	diminutive	指小辞
2	second person	二人称	DUB	dubitative	疑念
ABL	ablative	奪格	EMPH	emphatic	強調
ACC	accusative	対格	FIL	filler	フィラー
ADD	additive	添加	FOC	focus	焦点
ADJ	adjectivizer	形容詞化	GEN	genitive	属格
ADN	adnominal	連体	HON	honorifics	尊敬
ADVRS	adversative	逆説	IMP	imperative	命令
ALL	allative	方向格	INCH	inchoative	起動
APPR	approximative	近似	INDEF	indefinitizer	不定化
ASS	assertive	断定	INF	infinitive	不定形
CAUS	causative	使役	INFER	inferential	推量
CIRC	circumstantial	状況	INST	instrumental	具格
CM	compound marker	複合標識	INT	intentional	意志
			INTJ	interjection	感動詞
COM	comitative	共格	IPFV	imperfective	未完了
COMP	complimentizer	補文標識	LMT	limitative	限界格
CONC	concessive	譲歩	LOC	locative	処格
COND	conditional	条件	LST	listing	列举
COP	copula	コピュラ	NEG	negative	否定
CSL	causal	理由	NMLZ	nominalizer	名詞化
DAT	dative	与格	NOM	nominative	主格
DFC	defocuser	非焦点化	NPST	non-past	非過去

OBLG	obligative	義務	REFL	reflexive	再帰
OMP	onomatopoeia	オノマトペ	REP	reportative	伝聞
PASS	passive	受身	SEQ	sequential	継起
PL	plural	複数	SFP	sentence final particle	文末助詞
POL	polite	丁寧	SG	singular	単数
POT	potential	可能	TOP	topic	主題
PRF	perfect	完了	YNQ	yes-no question	真偽疑問
PROG	progressive	進行	-		接辞境界
PROH	prohibitive	禁止	=		接語境界
PST	past	過去	+		複合語境界
PURP	purposive	目的	~		重複境界
QUOT	quotative	引用	<..>		借用語
RED	reduplication	重複			

謝辞

本稿執筆のための自然談話資料収集・文字化、形態素分析のための質問調査にあたっては、川畑キヨ子氏、重野寛輝氏、重野洋子氏、新島一輝氏、新島夏江氏、山下ツヤ子氏（50音順）の多大なるご協力が不可欠であった。ここに心より感謝を申し上げる。なお、本稿にありうべき誤りは、すべて筆者に帰するものである。今後も地域の方々のご協力を得ながら、浦方言の記録・保存に努めて参りたい。

参考文献

- 上野善道（2000）「奄美大島龍郷町方言の用言のアクセント資料」『アジア・アフリカ文法研究』28: 83-136.
- 上野善道（2001）「奄美大島龍郷町方言の活用形のアクセント資料」『アジア・アフリカ文法研究』29: 193-301.
- 長田須磨・須山名保子（共編）（1977）『奄美方言分類辞典 上巻』東京：笠間書院.
- 長田須磨・須山名保子（共編）（1980）『奄美方言分類辞典 下巻』東京：笠間書院.
- 重野裕美（2012）「奄美大島龍郷町浦方言の丁寧語」『広島大学日本語教育研究』22: 9-16.
- 重野裕美（2014）「北琉球奄美大島浦方言の動詞形態論」『琉球の方言』39: 33-47.
- 重野裕美（2015a）「浦方言（鹿児島県大島郡龍郷町浦）」小川晋史（編）『琉球のことばの書き方』95-115. 東京：くろしお出版.

- 重野裕美 (2015b) 「北琉球奄美大島浦方言の文法概説—中間報告 (動詞・形容詞)—」
『琉球諸語 記述文法』1: 22-46.
- 重野裕美 (2016a) 「北琉球奄美大島龍郷町浦方言の格標識」『広島経済大学研究論集』
39(1・2): 81-92.
- 重野裕美 (2016b) 「奄美語龍郷町浦方言のテンス・アスペクト・モダリティ (中間報
告)」琉球諸語記述研究会 (編) 『琉球諸語 記述文法』3: 32-46.
- 重野裕美・白田理人 (2016) 「北琉球奄美方言における有生性階層—奄美大島浦方言と
喜界島上嘉鉄方言・小野津方言を例に—」『広島経済大学研究論集』38(4): 111-113.
- 田畑千秋 (2004) 「ハブの民俗いまむかし」『現代のエスプリ別冊 奄美復帰 50 年—ヤ
マトとナハのはざままで—』191-202. 東京: 至文堂.
- 田畑千秋 (2005) 『奄美大島の口承説話—川畑豊忠翁, 二十三夜の語り—』東京: 第一
書房.
- 寺師忠夫 (1981) 『奄美方言の研究』私家版.
- 中山清美 (2009) 「奄美大島に住む小妖怪「けんむん」」『バイオメディカル・ファジィ・
システム学会大会講演論文集』22: 165-168.
- まつもとひろたけ (1993) 「名詞の「主体=客体格」の用法と問題点—奄美大島北部方
言 (龍郷町瀬留)—」仁田義雄 『日本語の格をめぐる』139-161. 東京: くろし
お出版.
- まつもとひろたけ (1996) 「奄美大島方言のメノマエ性—龍郷町瀬留—」鈴木泰・角田
太作 (編) 『日本語文法の諸問題』77-105. 東京: ひつじ書房.
- まつもとひろたけ (1998) 「格のカテゴリーの内部構造—奄美方言の〈空間格〉をめ
ぐる—」『国文学解釈と鑑賞』63(1): 82-93.
- 琉球列島班 (編) (1990) 『長田須磨の奄美の民話と昔がたり—奄美大島大和浜方言の
記録—』文部省重点領域研究「日本語音声における韻律的特徴の実態とその教育
に関する総合的研究」成果報告書.
- 琉球列島班 (編) (1993) 『長田須磨の奄美の民話と昔がたり—奄美大島大和浜方言の
記録 その2—』文部省重点領域研究「日本語音声における韻律的特徴の実態と
その教育に関する総合的研究」成果報告書.
- Niinaga, Yuto. 2014. A Grammar of Yuwan, a Northern Ryukyuan Language. A thesis
submitted for the degree of Doctor of Philosophy of The University of Tokyo.
- Shigeno, Hiromi. 2010. Ura (Amami Ryukyuan), In: Shimoji, Michinori and Thomas
Pellard (eds.) *An introduction to Ryukyuan languages*, 15-34. Tokyo: ILCAA.

受領日 2016年10月7日
受理日 2016年12月26日